

後期高齢者
医療制度

保険料の負担 ズツツツ

先のばしせず、
ただちに廃止を

日本共産党

「高齢者いじめの制度は、いますぐやめて」——これが圧倒的な国民世論です。ところが民主党政権は、「ただちに廃止」の公約をうらぎり、いまだにやめようとしません。国民の切実な願いを受けとめ、後期高齢者医療制度をただちに廃止すべきです。

平均

今年度、**1300円増**

廃止を一日のばすごとに被害はひろがります。31の都道府県で保険料が値上げされ、1人あたり平均で1300円。東京では、値上げ額が4000円を超え、8万8000円(1人あたり年間平均)もの負担となります。

戦後の日本社会をささえてきた高齢者に、これ以上、犠牲をしいることは、絶対に許せません。



国会で質問する小池あきら政策委員長
=3月16日、参院厚生労働委

民主党政権が検討

差別医療を65歳までひろげる

後期高齢者医療制度の廃止を先のばしし、「新制度」を検討するという民主党。しかも、その中身は65歳以上の国民を強制的に、別会計の制度におしこむというひどい内容です。

小池議員は、「これでは、うば捨て山の入山年齢を引き下げただけ。ただちに以前の老人保健制度にもどすべきだ」と強く要求しました。

購読
申込書

印をおつけください ● 日刊 月2900円 ● 日曜版 月800円

お名前

住所

☎

しん
ぶん
赤旗

2010年4月号外

(1952年5月30日 第三種郵便物認可)

発行●日本共産党中央委員会

〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358

お申し込みは、お近くの党事務所または党員か、右記まで。ホームページからも申し込みます。

<http://www.jcp.or.jp>